

教育委員会委員

加藤 良邦 氏 (諏訪町)
堀田 直紀 氏 (勝幡町)

推薦

人権擁護委員候補者

水谷 三子 氏 (葛木町)
加藤 菊雄 氏 (上東川町)
原田 健三 氏 (赤目町)

選挙

選挙管理委員会委員

横井 治吉 氏 (下東川町)
山岸 敏則 氏 (草平町)
岩間 多恵子 氏 (佐屋町)
伊藤 毅 氏 (四会町)

選挙管理委員会補充員

後藤 幹夫 氏 (諸桑町)
清水 清治 氏 (大井町)
安藤 知男 氏 (二子町)
加藤 晴美 氏 (立田町)

海部南部水道企業団議
会議員(補欠選挙)

堀田 清 議員
を当選人としました。

討論

一般会計補正予算

賛成

愛西市は透析患者、糖尿病患者が県下上位。予防費として糖尿病対策に予算計上、さらに地域自殺対策緊急強化事業の導入と、市民の心と体の健康に取り組んでいる。
また、防災対策として、災害時に第1避難所となる学校の体育館に対し、非構造部材の耐震調査にも予算の計上がされた。
総合調査整備事業に関してこそうだが、今後、市長の目で事業内容を確認し、ちゅうちよすることなく英断を下すよう願う。

賛成

子ども・子育て支援新制度で重要なのは、ニーズ調査の仕方、潜在的ニーズの把握の仕方。母子家庭、父子家庭にも考慮し、ニーズ調査の実施を求めたい。

また、教育部局は、施設の改修費が多額に今回計上されている。早急に学校を含めた施設計画を策定し、今後無駄な改修費が計上されないよう、吟味した執行を要望する。

反対

消防備品等の整備や中学校体育館の震災時の落下防止調査など、また糖尿病対策などは評価できる。
しかし、生活保護システムの改修委託料については、特に扶助費について母子家庭では、例えば3人ならば月額4千980円もの削減で、生活に大きな影響が出る。さらに円安で生活物資の値上げが続いており、今後ますます生活が大変になることは明らかだ。

こうした実態の中で、国からの指示とはいえ、賛成できない。

日永貴章市長は、6月定例会最終日に副市長人事を提案。これに対し議員から質疑が集中しました。

問 愛西市には有能な人物はいないのか、議員は機能を果たさないのでは、という声が多まると思うが。

市長 愛西市には有能な人物があり、健全な議会が存在していると確信しているが、私としては、もっともふさわしい人物として選んだ。みなさんの心配をはねのけながら職にまい進してもらえると

かしてもらえらると思っ

問 副市長は、重要な決

裁権を持っている。今日提案され、人物がわからず判断できない。重要案件にもかかわらず調査する時間が全くないのは問題だ。今日採決するのはまずいのでは。

市長 議会軽視で人

問 幅広い人脈、知識が豊富だと説明があったが、どういった面について広い人脈を持っているのか。

市長 今までの行政経験の中で、県・国との人脈も持っている。

問 一番得意な分野は。

市長 企業誘致について、今までの経験を十分生

副市長人事に質疑が集中

委員付託や討論省略に異議が出ましたが、賛成多数で承認されました。